



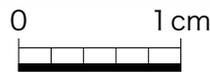
# 蘇民将来呪符木簡



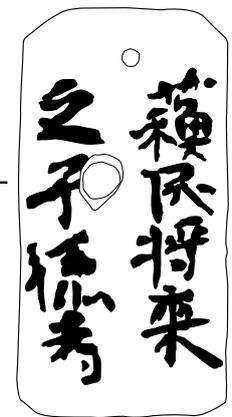
蘇民将来呪符木簡は、長岡京市開田四丁目で出土しました。表と裏に「蘇民将来之子孫者」と墨書きされた木の札で、小さな穴が開けられていることから、御守のように身に付けていたと考えられます。「蘇民将来」の呼称は、現代まで厄除けの民間信仰として伝えられています。その代表的な例は、京都の夏の風物詩である祇園祭に見ることができます。祇園祭の山鉾では粽が授与されますが、粽に付けられた紙の札には「蘇民将来之子孫也」と書かれています。長岡京跡から出土したこの木簡は、現代まで続く蘇民将来信仰の最も古い例です。



▲ 木簡が出土した調査地（東から・水色が道路側溝）  
▼ 六条条間南小路北側溝の枡状部で木簡が出土（西から）



長さ 2.7cm  
幅 1.3cm  
厚さ 0.2cm



「蘇民将来  
之子孫者」

「蘇民将来  
之子孫者」



長岡京市埋蔵文化財センター設立 40 周年記念事業・2022 缶バッジプレゼント企画

